

神奈川県内広域水道企業団 —令和3年度予算(案)の概要について—

1 令和3年度予算(案)について

令和3年度は、「かながわ広域水道ビジョン(令和3年度から概ね30年)」及び「実施計画(令和3～7年度)」の初年度であることから、これらの実現に向け着実なスタートを切るための予算を編成しました。

- 企業団及び構成団体水道事業者による最適な水道システムの実現に向け、「浄水場の増強と送水管等の整備」に着手します。
- 安定給水を確保するため、「効率的な点検と計画的な修繕・更新」「自然災害や事故に備えた対策」に重点的に取り組みます。
- 任期付職員の採用など、多様な人材の確保に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策や業務改善、働き方見直しの観点を踏まえ、既存業務のデジタル化に取り組みます。
- 実施計画に掲げた施策を着実に実施するため、組織面でも現行の「総務部」「技術部」の2部体制から、「総務部」「浄水部」「建設部」「危機管理室」の3部1室体制に再編します。

2 令和3年度の予算規模について

- 予算規模 約649億円(対前年度比 △5.7%)
- 減少理由 減価償却費等の減少による収益的支出の減少
一般建設改良費の減少による資本的支出の減少

予算規模(対前年度比較)

(単位:千円、%)

区分	令和2年度 当初予算	令和3年度 当初予算(案)	対前年度		
			増減額	増減率	
支出	収益的支出	43,731,448	41,575,657	△2,155,791	△4.9
	資本的支出	25,115,538	23,345,562	△1,769,976	△7.0
	計	68,846,986	64,921,219	△3,925,767	△5.7
財源内訳	料金収入	42,248,806	42,467,549	218,743	0.5
	企業債	4,978,000	2,561,000	△2,417,000	△48.6
	補助金	128,889	114,108	△14,781	△11.5
	その他資本的収入	110	110	0	0.0
	自己資金	21,491,181	19,778,452	△1,712,729	△8.0
	計	68,846,986	64,921,219	△3,925,767	△5.7

3 令和3年度予算(案)の特徴

- 予算規模においては、前年度の 688 億 4,698 万余円から 39 億 2,576 万余円(+0.3%) 減少の 649 億 2,121 万余円を計上しています。
- 収益的収入は料金収入の増等により増(対前年度 2 億 8,804 万余円)となる一方、収益的支出は減価償却費等の減等により減(同△21 億 5,579 万余円)となっています。
- 施設整備に関わる、一般建設改良費 81 億 91 万余円及び修繕費 24 億 6,140 万円を確保し、重点施策である「浄水場の増強と送水管路等の整備」「効率的な点検と計画的な修繕・更新」「自然災害や事故に備えた対策」に、重点配分しています。(対前年度比△11 億 2,185 万余円(△9.6%)減)
- 損益では、前年度の 15 億 8,816 万余円から、25 億 5,634 万円改善の 41 億 4,450 万余円の単年度利益を見込んでいます。
累積資金残高は企業債発行の減等により対前年度 15 億 9,016 万余円減の 71 億 1,724 万余円となる見込みです。
- 資本費負担を軽減するため、建設充当企業債残高の着実な縮減に努めつつ、事業計画に掲げた工事を着実に実施します。計画的な企業債償還により、令和 3 年度末における企業債残高は対前年度比で 126 億 7,415 万円縮減し、806 億 5,846 万余円となる見通しです。

4 予定供給水量及び給水収益

- 年間総供給水量は、対前年度比 3.3%増の 4 億 8,219 万余立方メートル、一日平均給水量 1,321,092 立方メートルを予定しています。
- 給水収益は、供給水量の増により対前年度予算比 2 億 1,874 万余円(0.5%)増の 424 億 6,754 万余円を見込んでいます。

(参考) 予定供給水量内訳

(単位: m³)

区 分		令和2年度(A)	令和3年度(B)	増減(B-A)	前年比
年間供給水量		466,777,600	482,198,500	15,420,900	3.3 %
事業別	直営事業	347,529,900	365,999,400	18,469,500	5.3 %
	寒川事業	119,247,700	116,199,100	▲ 3,048,600	▲ 2.6 %
団体別	神奈川県	173,321,900	186,519,300	13,197,400	7.6 %
	横浜市	190,895,000	194,545,000	3,650,000	1.9 %
	川崎市	88,111,000	87,235,000	▲ 876,000	▲ 1.0 %
	横須賀市	14,449,700	13,899,200	▲ 550,500	▲ 3.8 %

5 予算規模と収支の状況

※ 丸囲数字は下表の丸囲数字と突合

○ 予算規模	649億円	(対前年度予算比	39億円減少)	①+③
○ 損益	41億円	(対前年度予算比	25億円増加)	②
○ 累積資金残額	71億円	(対前年度予算比	16億円減少)	④
○ 企業債残高	807億円	(対前年度予算比	126億円減少)	⑤

令和3年度予算・要素別内訳

(単位:百万円)

区 分		令和2年度 当初予算 (A)	令和3年度 当初予算(案) (B)	増減額 (B-A)
収益的 収支	収益的収入	46,107	46,395	288
	用水供給料金	42,249	42,468	219
	その他	3,858	3,927	69
	収益的支出	43,731	41,576	△ 2,156 ①
	職員費	3,300	3,225	△ 75
	維持管理費等	17,758	18,735	977
	減価償却費等	20,609	17,936	△ 2,673
	支払利息等	2,065	1,680	△ 385
	収益的収支差額	2,376	4,819	2,444
損 益	1,588	4,145	2,556 ②	
資本的 収支	資本的収入	5,107	2,675	△ 2,432
	企業債	4,978	2,561	△ 2,417
	その他	129	114	△ 15
	資本的支出	25,116	23,346	△ 1,770 ③
	一般建設改良費	9,727	8,101	△ 1,626
	企業債償還金	15,378	15,230	△ 148
	その他	10	15	4
資本的収支差額	△ 20,009	△ 20,670	△ 662	
累積資金残高	8,707	7,117	△ 1,590 ④	
企業債残高	93,333	80,658	△ 12,674 ⑤	

※ 端数処理の関係から、合計額等が一致しない場合があります。

令和3年度予算における主な取組み

「かながわ広域水道ビジョン」に示す3つの取組みの方向性に基づき、実施計画に定める取組みを着実に実施してまいります。

※（ ）内は前年度の額を示す

(新)：新規事業、(補)：補助事業)

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理の取組み 85億7,645万円(90億6,292万円)

より安全で効率的な水道システムに向けた施設整備・運用を進めるとともに、施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新を実施します。

01 浄水場の増強と送水管等の整備 1億1,752万円(0万円)

(新)相模原浄水場の増強基本設計

(新)綾瀬浄水場の増強基礎調査 1億1,752万円(0万円)

▶ 将来の構成団体浄水場の廃止を見据え、企業団浄水場の増強に向けた検討を開始します。

※企業団からの新たな供給エリアへの送水管整備に必要となる設計・測量業務の発注に向け検討・協議を開始します。

02 安定的かつ効率的な水運用と原水の確保 7億9,035万円(7億991万円)

三保ダム及び宮ヶ瀬ダムの堆砂対策

飯泉取水堰及び相模大堰の堆砂対策

7億9,035万円(7億991万円)

▶ ダムの貯水機能、堰の取水機能を維持するため、堆砂対策を継続します。

※構成団体が保有する沼本地点の水利権を活用するため、構成団体と調整しながら水利権申請の手続きを進めます。

また、下流水利権の上流移転に向けて構成団体と検討を進めます。

03 浄水処理と水質管理の強化 6,600万円(0万円)

(新)浄水処理実験装置の設置 6,600万円(0万円)

▶ 浄水場の更新や浄水処理の改善につなげるため、広域水質管理センターに浄水処理実験装置(ミニプラント)を設置し、調査・研究を行います。

04 CO₂排出量削減等の環境負荷軽減 5億2,160万円(1億9,854万円)

相模原浄水場排水処理施設の乾燥工程廃止

綾瀬浄水場排水処理施設の乾燥工程廃止 5億2,160万円(1億9,854万円)

- ▶ 燃料消費量を削減するため、排水処理における乾燥工程を廃止する等、CO₂削減の取組みを進めます。(CO₂排出量：△491t/年)

※脱炭素社会の実現に向けて、更なるCO₂削減手法の調査・検討を実施します。

05 効率的な点検と計画的な修繕・更新 67億1,091万円(80億7,608万円)

西長沢浄水場排水処理脱水機の修繕 他 24億5,300万円(19億5,200万円)

- ▶ 各浄水場・取水管理事務所の電気・機械設備のオーバーホールなどを実施します。

伊勢原浄水場排水処理機械設備の更新

⑧綾瀬浄水場沈でん池排泥弁の更新 他 42億1,447万円(61億1,264万円)

- ▶ 伊勢原浄水場排水処理機械設備等の更新や各浄水場の沈でん池・ろ過池設備の更新・改良などを実施します。

⑧送水管（相模原一当麻）の基本検討・設計

⑧送水管（上鶴間一下鶴間）の基本検討・設計

⑧送水管（上粕屋一南金目）の基本検討・設計 3,200万円(0万円)

- ▶ 送水管更新の基本検討及び基本設計に着手します。

施設管理システムの運用 1,144万円(1,144万円)

- ▶ 施設の健全度評価や更新需要の算定に利用するためのデータの蓄積を継続して実施し、データの分析手法等を検討していきます。

06 施設の維持管理性の向上 3億7,007万円(7,839万円)

⑧相模原浄水場排水処理設備の増設基本設計 1,760万円(0万円)

- ▶ 相模原浄水場排水処理設備の増設等に着手します。

⑧飯泉ポンプ場沈砂池への第3棧橋設置

飯泉ポンプ場泥水調整池等の設計 2億4,658万円(7,839万円)

- ▶ 飯泉ポンプ場排砂処理の更新に引き続き取り組みます。

⑧給水地点等への監視カメラの設置 1億340万円(0万円)

- ▶ 各浄水場システムの給水地点に監視カメラ等を設置し、維持管理業務の効率化を図ります。

Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化の取組み

18億7,208万円(21億6,189万円)

自然災害や事故に備えた対策を着実に進めるとともに、組織対応力の強化と関係者との連携強化を図ってまいります。

07 自然災害に備えた対策

事故等の多様なリスクへの対策

18億6,185万円(21億6,189万円)

【送水施設耐震補強】

⑩西長沢調整池の耐震補強

⑪綾瀬浄水場調整池(2)の耐震補強 他

【排水処理耐震補強】

⑩相模原浄水場排泥池・排水池の耐震補強

15億6,446万円(21億1,643万円)

▶施設耐震化事業基本計画に掲げた令和5年度での主要施設の耐震化率100%を目標に、補強工事を引き続き実施します。

※令和3年度末における施設耐震化率

浄水施設100%、ポンプ所100%、送水施設(調整池)73.5%

【浸水対策】

⑪飯泉ポンプ場のポンプ搬入口浸水対策 他

【停電対策】

西長沢浄水場の受電2系統化

⑪非常用発電設備地下燃料タンクの増設等検討

⑪相模原ポンプ場導水ポンプ設備等の更新

2億9,739万円(4,546万円)

【テロ対策】

⑪浄水施設覆蓋化の基本検討

▶安定供給体制を強化するため、取水管理事務所の浸水対策の他、受電2系統化や浄水施設の覆蓋化の検討等を実施します。

08 非常時における組織対応力の強化

非常時の応急復旧における協力体制の構築

1,023万円(0万円)

▶非常時の対応力を強化するため、様々な災害を想定した訓練を実施していきます。また、既存のマニュアル等の見直しも継続して実施します。

⑪新型コロナウイルス感染症への対応

1,023万円(0万円)

▶用水供給事業継続のため、新型コロナウイルス感染症対策にも引き続き取り組みます。

Ⅲ 経営基盤の強化の取組み

2億629万円(1億9,181万円)

将来を見据えた財政・事業運営に努めるとともに、事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくりを進めます。

09 長期的な視点に立った財政運営

- ▶ 現行料金を維持し、利益を建設改良に積立て、今後施設整備に必要な財源を計画的に確保します。また、施設整備費の平準化や企業債発行の抑制を図ります。

10 事業環境の変化に応じた事業運営 1億8,370万円(1億7,820万円)

⑧ デジタル化の推進 550万円(0万円)

- ▶ かながわ広域水道ビジョンに掲げた事業を着実に実施するための業務の見直し、働き方改革の推進に向け、更なるデジタル化に取り組みます。

伊勢原浄水場の運転維持管理等 1億7,820万円(1億7,820万円)

- ▶ 伊勢原浄水場運転維持管理業務委託において、官民が連携し、効率的な運転管理手法等の検証を継続します。

※また、浄水場や管路更新に向けて新たな発注方法等の制度の構築を進めます。

11 人材の確保・育成 1,411万円(1,361万円)

職員研修の充実 1,411万円(1,361万円)

- ▶ 必要な人員を計画的に確保するため、地元の学校等との連携を重視した採用を継続するとともに、専門的知識を有する者を任期付職員として採用します。また、技術継承を進めるとともに、水道施設の再構築を担う職員を育成するため、研修を充実させます。

12 創造力・活力のある職場づくり 848万円(0万円)

- ▶ 民間企業等の創意工夫や技術力を取り入れていくため、「官民連携ガイドライン(仮称)」を策定し、民間企業等の提案を適切に審査したうえで積極的に採用していきます。

⑧ 商用テレワークシステムの導入 518万円(0万円)

- ▶ テレワーク推進のため、新たな商用テレワークシステムの導入を図ります。

⑧ 水道の仕組みを学べる映像の作成 330万円(0万円)

- ▶ コロナ禍で浄水場見学の受け入れが困難な中、小学校の社会科授業で活用していただくことを目的として、水源から蛇口までの水道の仕組みをわかりやすく学べる映像を作成します。

※ 令和3年度予算における主な取組みを示したものであり、計数が一致しない場合があります。

参考 かながわ広域水道ビジョン・実施計画と予算の関係

かながわ広域水道ビジョンは、概ね30年後における企業団の「将来像」と、その実現に向けた「取組みの方向性」を示したものです。

また実施計画は、この「取組みの方向性」について10年後に到達すべき状態を目標として整理したうえで、5年間で取り組む具体的な施策と実施スケジュールを示したものです。

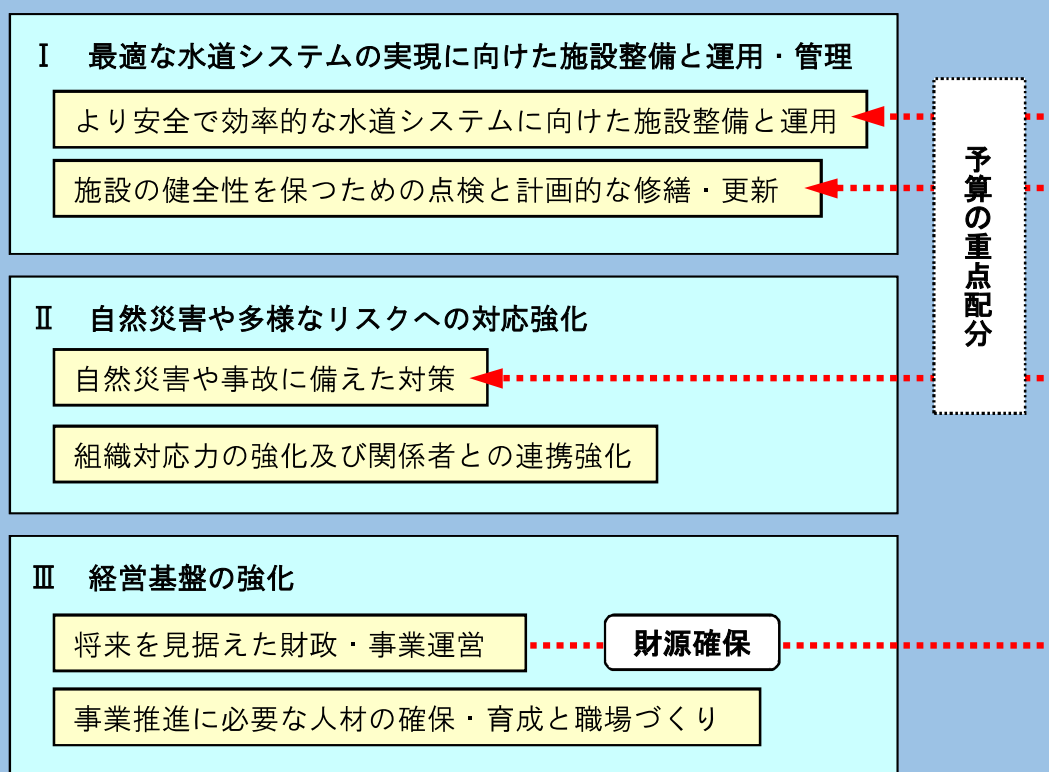
かながわ広域水道ビジョンに示す「将来像」の達成に向けて、実施計画に示す施策を着実に進めていくため、予算を精査し、費用を計上しています。

<参考> かながわ広域水道ビジョンと予算の関係

【概ね30年後の将来像】

企業団と構成団体水道事業者全体における最適な水道システムの実現に向けて、施設整備の推進と経営基盤の強化により、広域水道としての強みを最大限に発揮している

「概ね30年後の将来像」実現に資する実施計画の着実な実施



□ : ビジョンにおける「取組みの方向性（3つの柱）」

□ : 実施計画の実施施策

お問合せ先

神奈川県内広域水道企業団

財務課長	菱山	電話 045-363-2465(直通)	予算全般に関すること
総務課長	小池	電話 045-363-3942(直通)	組織・人員に関すること
経営計画課長	富安	電話 045-363-2397(直通)	ビジョン・実施計画に関すること
浄水課長	前田	電話 045-363-9297(直通)	施設整備など技術的事項に関すること